

風ぐるまと五輪

ここに来て新型コロナウイルスによる疾病のマイナス要因も加わり、果たして五つの輪（五輪）は今夏、東京に集合し、シンボルマークを形成する事が出来るのだろうか？

風ぐるまと五輪はシンプルな形で造形的にも相性がよく、双方のイメージにおいても平和をシンボリックに代弁し、この願いが込められている。

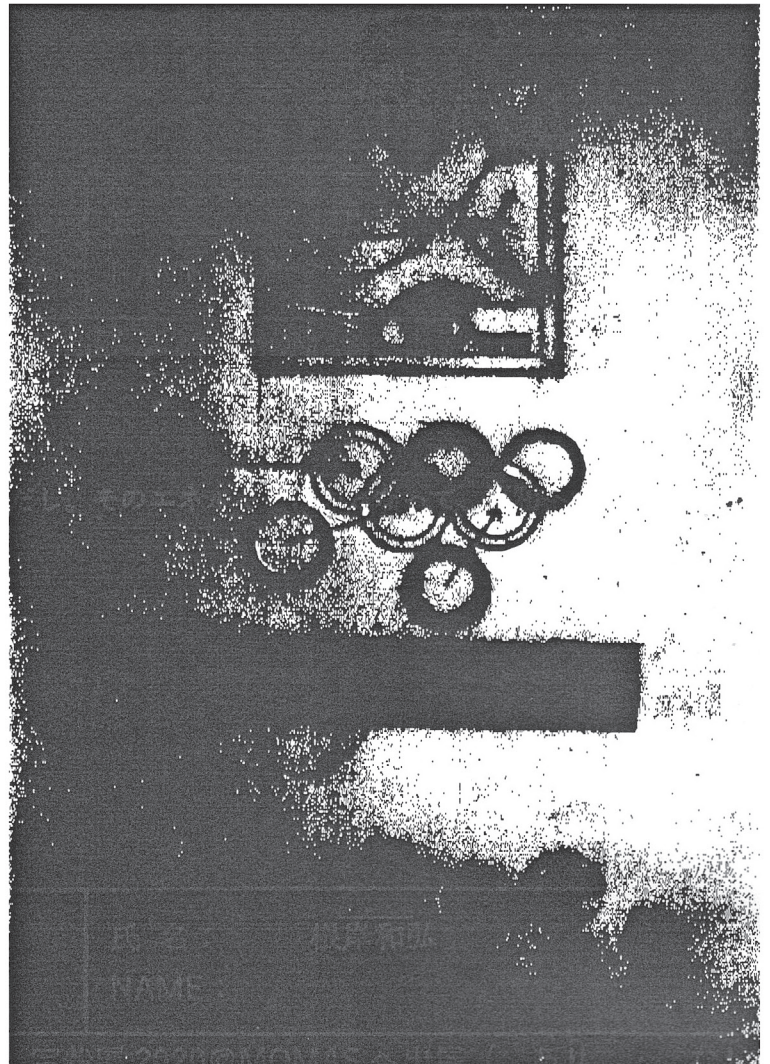
昨年、「出番を待つ五輪がそれぞれの大陸で待機する状態」を風ぐるまを使って、新潟県柏崎市のガルルスキー場の斜面でインスタレーションを行った。

今回の展示は、これを起点とし、以下のテーマで継承してみた。

(1) 壁面 予め用意したフラットな風ぐるまは昨年のインスタレーションの写真を隠す状態で準備する。それらは鑑賞者の参加を得て空白の輪に移動し、五輪のシンボルマークを完成させ、このコラボレーションが始まる。

(2) 床面 平面から立体へ

風ぐるまは自立して、風を受け五輪の色も回りだし。そのエネルギーは力となって、平和への願いとして解き放される。



題名： 風ぐるまと五輪

TITLE :

氏名： 根岸 和弘

NAME :